

☆ご採用事例 007☆

サービス付高齢者住宅 ケアビレッジ・ウエルビ井野 様

〒370-0004 群馬県高崎市井野町376番地  
入居定員 40室/42床 <http://www.wellbeing-care.jp>



「ウエルビ井野」は高崎市内の閑静な住宅地に、平成24年1月にオープンいたしました。経営母体であるウエルビーイング社の企業理念は、「人や社会に必要とされ、求められ、喜ばれるように、一生懸命に仕事をする事で自分も幸せになれる」とのこと。そのため、普段よりご利用者様・ご家族様を大切に、心から「ウエルビで良かった」という声が聞けるよう、職員一人ひとりが謙虚な心と前向きな姿勢、そして努力と奉仕の気持ちで介護サービスに従事されています。この度の取材は代表取締役佐藤様より直接お話を伺いましたが、「臭い」に対するこだわりと唆には大変感銘を受け勉強させていただきました。感謝。  
■ ご採用台数 12台（1階から3階の共有スペースを中心に設置しています）

<ご採用のきっかけ>

- 今年1月にオープンしたケアビレッジ・ウエルビ井野のほか、住宅型有料老人ホーム、ショートステイ・デイサービス施設など数施設を運営されており、臭い対策として消臭スプレー方式、空気清浄機、オゾン脱臭機など各種脱臭方式を探していた。
- 空気清浄機を何台も導入したが、満足できる脱臭効果はなく困っていたところ、取引業者のテクニカル・エンタープライズ社から脱臭効果抜群とのことで「デオダッシュ」を勧められた。
- テスト用の脱臭機を1週間貸していただき、施設内の数箇所で使用したところビックリするほどの脱臭効果があったと職員より報告があり、即決で10台の購入をいただく。1~3階の共有スペースを中心に設置されたが、職員の要望もあり2台追加となる。

<臭い対策の重要性について> 【代表取締役佐藤様より】

- 日頃より常に五感に敏感でなくてはならないとのこと。五感とは視覚(見る)、聴覚(聞く)、臭覚(嗅ぐ)、味覚(味わう)、感覚(触れる)であり職員の皆様には五感を磨いて仕事をされるよう指導されております。清潔で綺麗(視覚)、不快な音、騒音がない(聴覚)、不快な臭いがない(臭覚)、そして美味しい食事(味覚)と、心の通うケア(感覚)を大事にしていますが、特に臭いに対する対応が一番重要との話をいただきました。
- 臭いはこの施設でも多かれ少なかれあるが、ウエルビではご家族、親戚、友人などのご来客者の皆様に不快な思いを絶対にさせたくないとのこと。
- 来客者の皆様の施設の第一印象として、臭いが一番大きなインパクトになってしまう。臭いがあると、オムツ交換してないのでは？施設全体が汚いのでは？職員のケアが悪いのではないかと、負のスパイラルになってしまい、施設の大きなイメージダウンになる。
- 以上のように、「臭いは機微である」との認識をお持ちで、今後オープンを予定されている住宅型有料老人ホーム2施設にもご採用の予定との話をいただきました。



▲上の写真: 玄関から見たメインホール  
▲下の写真: 2階フロアのベンチシート横に設置

デオダッシュの脱臭力に満足しています！【職員様】

- 私どものケアビレッジ・ウエルビは今年1月にオープンしたばかりの施設であり、ニオイも少なく快適な環境と思っております。しかし、職員は毎日同じ環境で仕事をしており、ニオイには自然に慣れてしまっている可能性もあるのではないだろうか？、ご来客の皆様の中にはニオイに敏感な人もいるのではないだろうか？と、考えることもありました。
- 排泄介助の際のニオイや、オムツの一時保管場所としての汚物処理室、共用のトイレなどは清潔を心がけ清掃しておりますので、気になるほどのニオイも無かったのですが、デオダッシュを設置後は自信を持ってご来客の皆様を館内案内できるようになりました。

デオダッシュは女性でもラクラク移動して使い便利です！【職員様】

- 現在、各フロアの廊下、エレベータ横、共有トイレなどの共有スペースにほとんど設置しておりますが、失禁時など急な対応をしなければならない時には、キャストがついていますので、女性職員でもラクラク移動して使い大変便利しています。
- オムツなどは汚物処理室に一時保管し、朝夕の2回に分けて外部保管庫に移してありますが、その間は汚物処理室でデオダッシュを運転することで、ニオイが廊下へ流出する心配もなく職員一同感激しております。



清潔で広く、そして清潔感あふれる、各階ホールの共用トイレ居室各部屋のトイレも清潔に清掃されていました